

2020年12月24日

池田町町長 甕 聖章 様

池田町の財政再建を考える会

世話人（代表） 高山 暁

世話人 安部 誠

世話人 松澤 周三

世話人 村端 浩

池田町の財政再建に関する要望書

11月26日、27日に開催された財政状況町民説明会では、町の歳出削減案や財政シミュレーションに対して出席者から厳しい批判の意見が数多く出されました。

とりわけ、財政逼迫をもたらした町長の責任、財政調整基金の枯渇に見られる危機管理のなさや財政規律を無視した経常的経費の増大、令和7年度までのシミュレーションの安易さ、根本的な財政再建の方向性の欠如などが焦点となり、それらの議論を通して池田町の財政の危機的状況と町の対応の不十分さ、不適切さが浮き彫りにされました。

町は、これに対して12月7日の議員全員協議会の場で「参加者意見に対する町の方針」を示し、それに続く12月議会でもその「方針」にそった答弁を繰り返しました。

この「方針」は、町民負担の軽減や行政改革推進委員会の設置に言及するなど町民の要望に一定程度配慮する姿勢は示しながらも、実際にはその場しのぎの対応に終始しており、町民からの要望に正面から応えたものとは到底言えません。

財政難に対応するには、今日の危機的状況を招いた原因を究明し、行財政の舵とりを誤った理事者の責任を明確にするとともに、町民本位の財政再建への基本的な方針を持ち、経常的経費の削減に着手することが急務です。そして、身の丈に合った財政規模による計画的な財政運営を一日も早く実現することが必要です。

しかしながら、現在の町の対応は、直面する事態の重大性を考慮すれば余りにも不十分なものであると言わなければなりません。

私たち「池田町の財政再建を考える会」は、2度にわたるチラシを通して町民の方々に事実を伝えるとともに、町議会とも意見交換を行い、町民の皆さんへのアピールを発表し多くの方々から賛同を得てきました。これらの活動を通して、財政問題に対する池田町民の関心が日増しに高まっていることを実感しています。

以上の状況を踏まえ、私たちは別記の通り「要望事項」をまとめました。

この財政難を克服し、子どもたちの世代やさらにその先の世代に安心して暮らせる池田町を継承することは、現在の私たちの重大な責務です。

町は、私たちのこの要望を正面から受け止め、その実現にご尽力されるよう強く求めるものです。

要望事項

1. 未曾有の財政難を引き起こした責任の重大性に照らして、町民が納得できるよう町長歳費のさらなる減額（30%以上）を求めます。
2. 財政再建に取り組む町としての基本方針を示してください。なおその際に、短期的な方針と中長期的な方針とにわけて、財政再建の方向を明確に示してください。
3. 当面の方針についての要望は以下の通りです。
 - ① 令和3年度予算編成にあたっては、福祉・子育て・教育・防災に関する予算は削減しないこと。
 - ② 美術館、ガラス温室などの公共的施設を向こう3年程度閉鎖すること。また、移住定住補助金は引き上げ前の水準に戻すこと。
 - ③ 役場内部の課・係の統廃合、欠員不補充などによる人件費の削減を行うこと。なお、一般職員の給与の削減については慎重を期すこと。
 - ④ 町の事務事業の抜本的見直し、各種補助事業の縮減につとめ、経常的経費の削減をはかること。
 - ⑤ 新型コロナウイルス対策のために、令和3年度は福祉基金からの繰り入れを行わないこと。
4. 上記の要望に加え、町民説明会やパブリックコメントなどで出された意見および議会の要望をふまえて、町民が納得できる財政再建案とそのためのシミュレーションを作成してください。その上で、1月中に改めて町民説明会を開くことを求めます。
5. 財政再建についての当面の基本方針と具体的計画、およびシミュレーション決定までの間、令和3年度予算は暫定予算とすることを求めます。
6. 町民・議員・有識者・専門家などによる、「行財政改革推進委員会」（仮称）を早期に立ち上げ、財政再建を軸に据えた抜本的な「行財政改革プラン」（基本方針と年度ごとの具体的到達目標など）を策定することを求めます。

この委員会は継続的にその実行状況の検証にあたり、必要に応じて計画の見直しと提言を行います。町は、この計画にそって年度ごとに実施状況を検証し、町民とともに財政再建を進めるものとします。

なお、上記について、1月の早いうちに文書で回答されること、および1月中に当会との意見交換の場を設定されるよう要望いたします。

以上